

MT3と名付けました

旭泌尿器クリニック 院長 山口 旭

旭泌尿器クリニックの山口旭（やまぐちあきら）と申します。平成26年12月より、大阪赤十字病院西隣のウェルライフ上本町で泌尿器科診療を行っております。

当クリニックでは一般泌尿器科や訪問診療のほか、内科診療の経験を生かして全人的に対応する「内科的泌尿器科」診療を心がけておりますが、その一例として、男性特有のお悩みである「男性更年期障害（LOH 症候群）」、「男性型脱毛症（AGA）」、「勃起不全（ED）」を効果的かつトータルに解消する治療法、MT3（エムティースリー）を考案しましたので、ご提示させていただきます。

MT3（メンズヘルス・トータルケア・スリーディレクションズ、エムティースリー）

男性更年期障害、男性型脱毛症、勃起不全のような男性特有の悩みを解消するために、「テストステロン」「デュタステリド」「タダラフィル」といった、各症状に対する改善効果が期待できる治療法を提案するだけでなく、それらを組み合わせることで総合的なケアを目指しています。

- 1) 男性更年期の場合、テストステロンを投与することで症状改善をはかれますが、前立腺組織の増殖とりわけ前立腺癌を進行させるという重大な副作用があります。また、頭髪が薄くなる場合もあります。そこで前立腺を縮小し前立腺癌の進行を抑える可能性があり、発毛促進作用もあるデュタステリドを併用することで、副作用の軽減が期待できます。デュタステリドの副作用としてリビドー低下が懸念されますが、テストステロンによりこの問題も解消され得ると思われれます。さらに、テストステロンとデュタステリドにプラセンタを加えることで、男性更年期に伴う諸症状の改善効果の促進が期待できるかもしれません。
- 2) 男性型脱毛症の場合、デュタステリドを投与することにより、脱毛の原因物質であるあるジヒドロテストステロンの産生が抑制され、頭髪が抜けにくくなりますが、リビドー低下が懸念されます。そこで、勃起不全に効果があるタダラフィルとの併用を提案しています。タダラフィルは血管拡張作用があ

りますので毛根への血流改善作用が期待できるかもしれません。また、この2剤はともに前立腺肥大症による諸症状の改善効果もごさいます。さらに、デュタステリドとタダラフィルに高濃度ビタミンCを加えることで、全身の皮膚の状態が良くなるものと考えております。

- 3) 勃起不全が起こる原因は様々で、ストレスや緊張から起こる心因性のものや、血管や神経の障害から起こる器質性もの、薬剤の影響による薬剤性、そしてこれらが混合した混合性ものなどに分類されます。薬物療法としてはタダラフィルなどのPDE5 阻害薬の投与が一般的で、勃起の維持には有効ですが、リビドー低下併発例にはテストステロン併用をお勧めしています。さらに、タダラフィルとテストステロンにビタミンB 群を加えることで、疲労回復や倦怠感の解消が期待できるものと思われれます。

このように、これら3剤それぞれの治療法のプラス（作用など）を増強させたり、マイナス（副作用など）をプラス（作用など）で補ったりする、「相補的かつ総合的な治療」こそが、私の提唱する「メンズヘルス・トータルケア・スリーディレクションズ（MT3、男性特有の悩みを総合的にケアするための3つの方向性）」なのでごさいます。

MT3による治療法併用の組み合わせには上述の3パターンに加えて、さらに「テストステロン」「デュタステリド」「タダラフィル」の3剤すべてを併用するのもよい考えでしょう。男性更年期障害に伴う抑うつ、体のだるさ、やる気の減退などにはテストステロン、その副作用として発現する可能性のある前立腺腫瘍や薄毛にはデュタステリド、さらにタダラフィルとテストステロンにより男性機能の改善効果の増幅が期待でき、デュタステリドとタダラフィルにより脱毛症や前立腺肥大症を改善します。

これらの方策により、男性特有の様々なお悩みを効果的かつトータルに解消することができるようになると思われれます。

いつまでも若々しく、力強い男性であるために。

（注1）MT3による治療に、保険適用はありません。

（注2）「テストステロン」はエナルモンデポー筋注、「デュタステリド」はアボルブカプセル、「タダラフィル」はザルティア錠を想定しています。

（注3）MT3の治療効果には個人差がごさいます。重大な副作用の可能性もあります。MT3は私の臨床経験に基づいた思いつきに過ぎませんので、何卒ご容赦願います。